

JEITAセンサ・グローバル状況調査結果と センサ関連データ・資料のご紹介

一般社団法人 電子情報技術産業協会

一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)では、日本のキーデバイスとして成長著しいセンサについて、今年の「注目分野調査」で取り上げました。世界市場を把握すると共に将来展望をデータで示すことで、業界アピールに繋げることを目的としています。

そのための基礎として、センサ実績の時系列的な推移を把握するため「JEITAセンサ・グローバル状況調査」を実施いたしました。その調査結果の一部を無償公開しております(2/12発表)。

また、集計結果・全品目データや関連資料の一般頒布を実施しておりますので、ご紹介致します。内外で広くご活用いただければ幸いです。

JEITAセンサ・グローバル状況調査・センサ世界出荷実績

(単位:千個、百万円、%)

| | | 2009年 | 2010年 | 2011年 |
|-----------|-----|------------|------------|------------|
| センサ世界出荷実績 | 数量 | 10,080,438 | 11,685,026 | 12,784,397 |
| | 前年比 | - | 116% | 109% |
| | 金額 | 790,108 | 858,525 | 883,871 |
| | 前年比 | - | 109% | 103% |

出所: JEITA

調査の概況

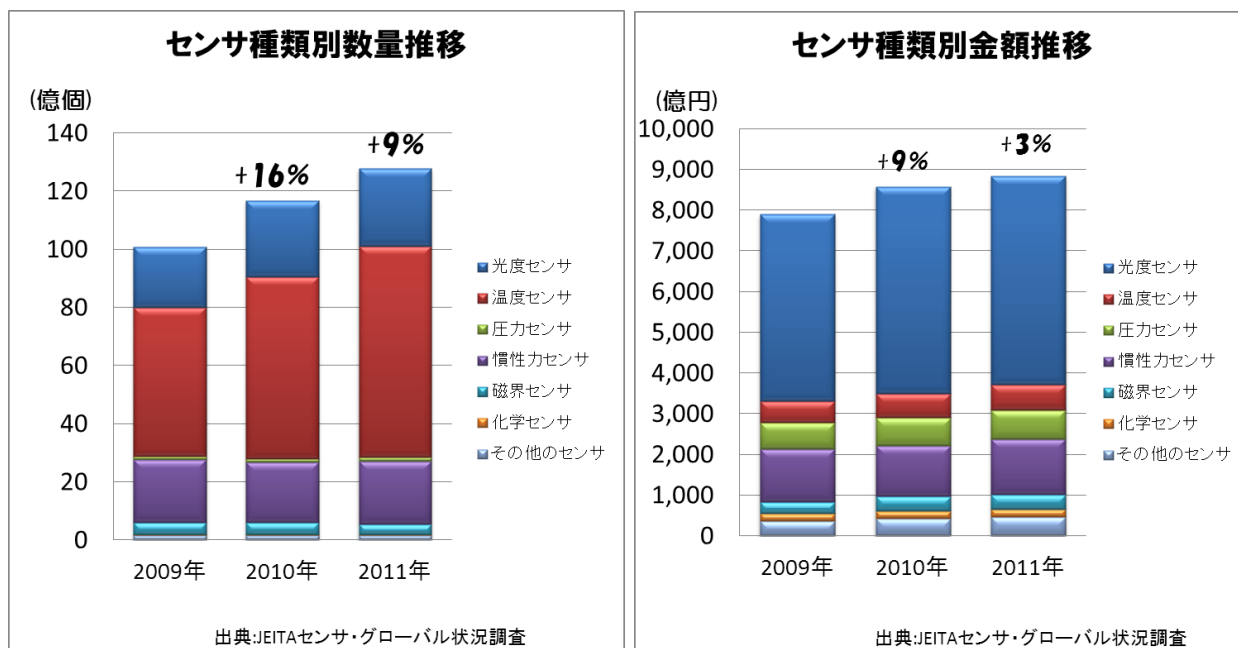
2011年におけるセンサの世界出荷数量は、127億8,439万7千個、対前年比109%となった。金額は、8,838億71百万円、対前年比103%となった。この厳しい状況下にあっても、2年連続で二桁近い成長を記録した。

数量構成比が大きいセンサとしては、温度センサ、光度センサ、慣性力センサとなっており、金額構成比が大きいセンサとしては、光度センサ、慣性力センサ、圧力センサ、温度センサとなっている。

数量の需要部門特徴としては、電子機器部門で全体の約7割弱を占めており、産業部門の構成比は約1割強とまだ小さい。金額の需要部門の特徴としては、電子機器部門の構成比は約5割弱、産業部門の構成比は約4割と台数構成比と比較すると産業部門のウェイトが大きくなり、自動車・物流・交通用が約2割強と産業部門の最大構成となっている。

仕向地の特徴としては、数量では日本向け、中国向け、アジア・パシフィック向けのアジア全体への出荷が約9割を占めている。金額では日本向けのウェイトが約5割弱を占めている。

センサ種類別数量・金額推移(2009年～2011年)



調査期間と時期：2009年、2010年、2011年の3年間分を調査した。(暦年調査)

2012年7月20日(金) 製品登録調査・回答〆切

2012年8月20日(月) 本調査・回答〆切

調査対象：JEITA 会員内外のセンサの販売/出荷を行っている企業に対し、グローバル出荷(世界出荷)を調査した。(JEITA 正会員を含む)

回答会社数と製品登録数：

85社より665製品が登録。日系の主要なセンサ企業より協力を得ることができた。

＜センサ種類毎の回答会社数＞

- ・光度センサ 28社
- ・温度センサ 27社
- ・圧力センサ 20社
- ・慣性力センサ 32社
- ・磁界センサ 21社
- ・化学センサ 8社
- ・その他のセンサ 24社

JEITAにおけるセンサ関連データ・資料のご紹介：

■1■ 注目分野に関する動向調査 ～ヘルスケア・メディカル、センサ、JEITAセンサ・グローバル状況調査～

本調査結果を日系企業の実績として使用し、センサ種類毎の日系シェアを推計、センサが搭載される需要先機器の台数と搭載されるセンサ個数から2020年のセンサ需要見通しを作成した。

頒布価格(税込)：一般 2,000円、会員 1,000円

<http://www.jeita.or.jp/cgi-bin/public/detail.cgi?id=474&cateid=1>

電子情報産業の世界生産見通し
注目分野に関する動向調査

01 ヘルスケア・メディカル
Healthcare & Medical

02 センサ
Sensor

03 JEITAセンサ・グローバル状況調査
Sensor Statistics

2012年12月
一般社団法人 電子情報技術産業協会

JEITA

■2■ JEITAセンサ・グローバル状況調査（サマリ版品目データ）【ダウンロード版】

本調査の内訳データである、(1)センサ種類別世界出荷、(2)センサ需要部門別世界出荷、(3)センサ仕向地別世界出荷、(4)センサ形状別世界出荷について、3年分の実績データを掲載している。

また、特別付録として「注目分野に関する動向調査」のセンサ世界需要見通し(3~4頁)にて使用したデータを「センサ世界需要見通しデータ編」として添付している。

※データの取扱→グラフ加工データのみ社外利用を許可。

頒布価格(税込): 一般 21,000円、会員 10,500円

<http://www.jeita.or.jp/cgi-bin/public/detail.cgi?id=480&cateid=1>

■3■ JEITAセンサ・グローバル状況調査（集計結果・全品目データ）【ダウンロード版】

本調査の集計結果・全品目データの3年分（2009年、2010年、2011年）の実績データと製品登録一覧表。各センサ種類別(7種類)のデータをさらにそれぞれの様式毎に細分化したデータである。

本調査の参加会社85社のご理解とご協力を得て、今回はじめてダウンロード版での頒布が実現した。幅広く一般には分かりづらいセンサの全貌を明らかにする一助となると共に、データにより動向把握を可能にした画期的な調査。

※データの取扱→社内利用限定。社外利用は一切不可。

頒布価格(税込):

様式1ー測定原理別: 一般 420,000円、会員 210,000円

様式2ー需要部門別: 一般 105,000円、会員 52,500円

様式3ー仕向地別: 一般 52,500円、会員 26,250円

様式4ーセンサ形状別: 一般 52,500円、会員 26,250円

製品登録一覧表: 一般 420,000円、会員 210,000円

《JEITAセンサ関連資料》

1. 2022年までの電子部品技術ロードマップ

～変化する将来の生活環境と世界をリードする電子部品の動向～

「第3章電子部品の技術動向」の「3.6 センサ・アクチュエータ」において、センサの最新技術動向をまとめている。

頒布価格(税込): 一般 10,000円、会員 5,000円 電子部品部(2013年3月発行)

<http://www.jeita.or.jp/cgi-bin/public/detail.cgi?id=484&cateid=4>

2. ICガイドブックー2012年版ー

「第2部 未来を創る半導体」の「第3章 活躍する最先端の半導体デバイス」において、感覚情報や社会情報へアクセスする半導体、人と機械の情報の受け渡しを担う半導体として、センサを取り上げ、それらの最新動向をまとめている。

頒布価格(税込): 一般 10,206円、会員 5,103円 電子デバイス部(2012年4月発行)

<http://www.jeita.or.jp/cgi-bin/public/detail.cgi?id=329&cateid=5>

事務局(本件の問合せ先): 総合企画部調査グループ TEL: 03-5218-1052

以上